

佐藤壽三郎の議員活動詳報

ことぶき月報 (No.207) 2015年12月号

終世書生気質 <http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた

【須坂市議会 12月定例会のまとめ】

1. 【私の議会内議員活動】

本会議の概要報告

平成27年11月24日招集され、12月15日本会議を再開して全ての議案を了して閉会しました。

(1) 今定例会に提出された注目すべき議案として。

- 1) **事件決議 16件**のうち。①福島人権ふれあいセンターと二睦学習センターの指定管理者については起立採決。採決の結果、何れも**起立多数**で原案とおり可決。外15件は一括簡易採決で可決。
- 2) **条例案 11件**のうち。①須坂市個人番号の利用に関する条例制定と須坂市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正については起立採決。採決の結果、何れも**起立多数**で可決。外10件は一括簡易採決で可決。
- 3) **補正予算 6件**のうち。平成27年度須坂市一般会計補正予算第5号は保健衛生費35.5万円を減額し、教育費を同額増額する修正案が提出されるも、採決の結果、**修正案は否決**されました。よって一般会計補正予算は原案とおり可決されました。外5会計は一括簡易採決で何れも可決。

(2) 今定例会に提出された請願について。

- 1) 介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める請願
起立多数で可決。⇔ **私は賛成。**

(3) 今定例会に示された意見書に対する本会議の結果。

- 1) 介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める意見書の提出
起立多数で可決。⇔ **私は賛成。**
- 2) 須坂建設事務所の存続を求める意見書の提出
起立全員で可決。

(4) 今議会における各常任委員会等の争点についての私評

- 1) **総務文教委員会**：「須坂市個人番号の利用に関する条例の制定について」、番号法第9条2項に基づく個人番号の利用が真に市民の便益に資するものであるのか、委員会審査していても正直言って条例の本質が掴めない。

2) **経済建設分科会**：今夏、峰の原の民間開発分譲区域（市の給水が為されていない地域）で断水が発生した。市は緊急避難行為として修繕措置を施し復旧した。当該給水施設は経年劣化等から再発が予想される。峰の原水道業務の枠外にある民間の給水施設修理費へ公金での処理は問題がある。市として基本的姿勢を再確認し、峰の原水道業務の枠外にある者には、原則受益者負担を求めることを堅持すべきと思う。

3) **福祉環境分科会**：「健康おすそ分けツワー受け入れ人材育成事業」のうち、「次世代食文化伝承人材養成事業」については、どうも事業の目的がはっきり見えてこない。「食文化伝承」は、そもそも多種多様な要素を含み、且つ無形・抽象的で然も家毎に味の違いがある。これこそが食文化といえる。これを十把一束で括ることなどできない。思えば至難な事業といえる。

(5) 今定例会の一般質問総括

○三木市長は12月1日の一般質問で、井上地域に進出が取沙汰されている大型商業施設について、『積極的に支援したい』と答弁。このことについて、信濃毎日新聞、須坂新聞、NHK、県内民放各社、須高ケーブルTVが特集で取り上げ報道されました。

11月30日、私は須坂商工会議所主催のイオン春日部とイオン佐久平を、商工会議所サービス部会長として視察する機会を得ました。

私は、「イオンの須坂進出阻止ができるか」を念頭に視察に参加を申し出ました。当日は早朝に須坂を発ち、昼にイオン春日部に到着しました。3時間程の滞在時間に、イオン関係者から詳細な説明を受け、その後イオン春日部施設内をくまなく見て廻りました。更にイオン佐久平に移動して、同様に関係者からの説明を受け、施設内を見学しました。

イオン春日部同様に店内を巡回するうちに、私の当初の考え方は、イオングループの組織も施設も想像を遥かに超える「集客力」を備えたモンスターと知った以上、最早、イオン進出を阻止する理由はないのではないかと。仮に須坂進出を阻止した場合に、近隣の市町村にイオンが進出すれば、自治体たる「須坂市」の名は残るも、旧市街地の商店街は悉く瓦解し衰退してしまうのではないかと。須坂を発つ時に抱いていた「イオンの須坂進出を阻止論」は、大きく打ち砕かれたのです。

イオン佐久平が一日に1万6千人もの集客力があること。規模が桁外れに大きく全国に展開している組織であること。イオン関係者から詳細な説明が極めて透明性があり信憑性が高いことが大きな翻意の理由です。

であれば、如何に須坂市の旧市街地の態を保つことができるかを慮るとき、須坂市はこのイオンの近郷近在からの集客力を逆手に、旧市街地に誘

導するかを自ら考え、これを相乗効果として利するならば、旧市街地の商店街の活路が見出せるのではないか。ここはイオンの須坂進出に賭けるべきと確信しました。

故に、私は三木市長の『積極的に支援したい』発言を支持いたします。

○今議会の一般質問は、16名の議員が登壇して市政を質しました。取り上げた質問が重複した内容は次のとおりです。

- ① 井上地域への大型商業施設進出に関して。 7人
- ② T P P問題について。 4人
- ③ 地域福祉・介護予防・介護保険制度・健康増進の推進について。 4人
- ④ 地域振興について。 4人
- ⑤ T P Pについて。 3人
- ⑥ 安心安全のまちづくりについて。 3人
- ⑦ 市長の政治姿勢等について。 3人
- ⑧ 一般廃棄物最終処分場問題について。 2人
- ⑨ 富士通須坂工場跡地について。 2人
- ⑩ 学校給食センター建設について。
- ⑪ 食の推進について。
- ⑫ オスプレイの飛行訓練ルートについて。
- ⑬ 蔵水について。
- ⑭ 児童虐待について。
- ⑮ 生活困窮者支援について。
- ⑯ 観光振興策について。
- ⑰ 補助金に頼らないまちづくりについて。
- ⑱ アベノミクス・新三本の矢について。
- ⑲ 村山交差点にからむ県道343号の渋滞について。

○今議会の一般質問に対する岡目八目。

- ① 再質問の語が甘いのではないか。これは議員本人の政治哲学もある。
 - ② 福祉に関する質問は、精通している議員であるか否かは再質問で分かる。
 - ③ 資料収集をしていることは分かるが、分析が足りなく感じる。
 - ④ 資料収集を自分の足で行っている印象を受ける。説得力がある。
 - ⑤ 高飛車な言葉の言い回しが引っかかる。
 - ⑥ 市政一般の質問から逸脱した内容である。
 - ⑦ 不用意に発言時間をオーバーしてしまった。再質問に熱が入り過ぎたか。
 - ⑧ 質問内容に聊か棘がある。個性というものかも知れないが飽きられる。
 - ⑨ 商売を営んでいることもあってか、理想論ではない説得力だ。
- 等、議員が様々な個性を生かした一般質問でありました。

2. 須坂市の景況感と日銀松本支店短観等

◇市内製造業105事業所を対象に、実施した今年7月から9月期の「企業動向

調査」結果ですが、業況が「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を差し引いた業況判断指数D Iの平均はマイナス 1.2 ポイントで、前期調査結果（1月から3月期マイナス9.6ポイント）の調査結果と比較して、8.4ポイント上回りましたが、3期連続でマイナスとなりました。【平成27年11月24日開会の平成27年12月市議会「市長招集あいさつ」の写し】

◇日銀松本支店が12月14日発表した12月の県内企業短期経済観測調査(短観)によると、業況が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた業況判断指数(D I)は、全産業で前期と同じマイナス6でした。

中国など新興国経済の減速が影響し、製造業の景況感が落ち込んだものの、非製造業は観光や個人消費が堅調。ただ全産業では前期に続きマイナス圏にあり、新興国経済の減速がどこまで影響を及ぼすのか、先行きには慎重な見方もある。【信濃毎日新聞12/15】とあります。

◇中国経済の動向について、経済協力開発機構(OECD)は、「中国の成長率が2年間で2%落ち込むと日本経済は年0.5~0.6%程度低下しかねない。」と試算しています。報じられるように中国経済の減速によって、世界経済も減速していることは事実です。十分に注視せねばなりません。【平成27年度12月市議会一般質問で行った私の質問原稿から引用】

3. 【12月期で私が注目したニュースの見出し備忘録】

ニュースの概要	報道機関	月日付
国内景気、足踏み＝中国減速で―帝国データ調査	時事通信	12/3
公務員の60歳定年、延長せず＝年金先送りで無収入も―政府	時事通信	12/3
停電時に混乱生じず＝環状交差点、事故減少も―15都府県、49カ所導入・警察庁	時事通信	12/3
教員免許で保育所勤務OK＝人手不足に対応―厚労省	時事通信	12/4
相次ぐトラブル、対策に躍起＝マイナンバー通知で―政府	時事通信	12/4
「介護保険優先」は維持＝障害者支援法見直しで―厚労省	時事通信	12/4
純利益16.6%増＝9月中旬、株売却益寄与―地銀106行	時事通信	12/4
10～12月期GDP、年1.31%増＝エコノミスト予想の平均値	時事通信	12/7
景気指数、2カ月連続改善＝基調判断は据え置き―10月	時事通信	12/7
11月の倒産、3.4%減＝90年以来の低水準―東京商工リサーチ	時事通信	12/8
街角景気、2カ月ぶり悪化＝温度高く冬物不振―11月	時事通信	12/8
7～9月期、年1%増に上方修正＝設備投資伸びプラス転換-GDP改定値	時事通信	12/8
景況感、横ばい＝大企業製造業―12月日銀短観 時事通信 12/14	時事通信	12/14
物価見通し2期連続低下＝1年後、1.0%・・・日銀	時事通信	12/15
全有権者28万人の情報流失＝市職員を懲戒免職 大坂・堺市	時事通信	12/15
今年の漢字「安」＝安保やテロ不安反映― 京都	時事通信	12/15
赤字国債、5年継続発行＝特例法を延長―財務省	時事通信	12/15
軽減税率＝週2回以上の新聞も対象に、制度固める―与党	時事通信	12/15
食品ぜんぱんに軽減税率＝軽減規模4000億円―法人税29.97%	時事通信	12/16

夫婦同姓規定は合憲＝再婚禁止 100 日超は違憲—民法改正へ最高裁	時事通信	12/16
民法改正、通常国会にも＝再婚禁止 100 日に短縮—戸籍受理を前倒し	時事通信	12/16
米・9 年半ぶり利上げ＝ゼロ金利解除、政策正常化へ	時事通信	12/17
産経前ソウル支局長無罪＝「言論の自由」の領域と判断ソウル中央地裁	時事通信	12/17

【北信濃鏡】

- 12/1 12 月定例会一般質問、会派代表者会議、広報特別委員会
- /2 議会運営委員会、一般質問
 - /3 一般質問
 - /4 議会運営委員会、全員協議会、一般質問登壇、2 会派学習会、報道情報整理
 - /5 議会報原稿記事まとめ、報道情報整理
 - /6 議会報原稿記事まとめ、委員会予習、来訪者面談、焼香
 - /7 予算決算特別委員会総務分科会、総務文教委員会の委員会審査 17 時 10 分了
 - /8 総務文教委員会審査のおさらい。総務課と意見調整。検診結果をHDに聴聞。支援者宅訪問、報道情報整理、不動産管理業務。
 - /9 選挙管理委員会と意見調整。農業委員会問合せ、報道情報整理、開発行為等協議
 - /10 行政書士相談、3 会派勉強会、報道情報整理
 - /11 予算決算特別委員会、広報特別委員会、焼香、行政書士相談、報道情報整理
 - /12 行政書士相談、礼状書き、報道情報整理
 - /13 焼香、返信書簡
 - /14 市民相談 2 件、市議会採決検討
 - /15 議会運営委員会、全員協議会、本会議閉会、報道情報整理
 - /16 焼香、市民相談 3 件。会報編集並びに配信。報道情報整理
 - /17 広報特別委員会校正 (2 回目)、報道情報整理。

■□■□■□■□ 発行日 平成 27 年 12 月 17 日

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 寿三郎